第 78 回審査会（令和 4 年 10 月 4 日）

10 時 00 分 開会

【 1 開 会】

事務局 定刻となりましたので、川崎委員長よろしくお願ひいたします。

委員長 皆様、こんにちは。

本日の審査会につきましては、審査会委員 5 名に対し、出席委員 4 名であることから、加古川市情報公開・個人情報保護審査会条例施行規則第 2 条第 2 項に規定する定足数を満たしておりますので、ただいまより、第 78 回加古川市情報公開・個人情報保護審査会を開会いたします。

本日は、1 議題となっておりますので、会の進行にご協力をよろしくお願ひします。

【 2 議 題】

《（ 1 ） 諮問第 50 号にかかる審査について》

委員長 実施機関より「見守りカメラにおける個人情報の取扱いについて」の諮問が提出されています。事務局より諮問内容を説明願ひします。

事務局 諮問第 50 号の諮問内容について説明させていただきます。

見守りカメラにおける個人情報の取扱いについては、これまでに平成 28 年 12 月開催の第 63 回審査会において、諮問第 39 号として諮問し、収集した個人情報の目的外利用、外部提供、開示請求等について答申をいただき、令和 2 年 8 月 5 日開催の第 72 回審査会において、実施機関内においてデータを利用する目的内利用についてルールを制定することについて報告させていただいたところです。

このたび、新たな機能を搭載した高度化カメラを設置し、新たなデータの活用をすることからその取扱いについて諮問するものです。

なお、諮問案件の具体的な内容については、所管課が生活安全課となりますので、生活安全課職員を審査会に出席させ、説明をさせていただいてよろしいでしょうか。

（各委員承認）

事務局 それでは所管課職員を審査会に出席させます。

（生活安全課職員入室及び自己紹介）

委員長 それでは、所管課からの説明をお願いします。

生活安全課 それでは、「見守りカメラにおける個人情報の取扱いについて」、説明します。概要説明に入る前に、そのイメージについてははじめにご説明します。資料4ページをご覧ください。

今回、本市で設置を予定しております、2種類の高度化カメラ 150 台について、お示ししています。

まず、高度化カメラⅠ型については、100 台の設置を予定しており、悲鳴や怒声などの異常音を検知して、遠くからでもはっきりとわかる光量で目立つ回転灯で光を発し、スピーカーで注意喚起するなど、今そこにある危険な状況を周囲に知らせることによって犯罪を未然に防ぐほか、暴走族や、自動車の急ブレーキ音についても分析することで、犯罪や交通事故の防止につなげていきたいと考えています。なお、収集はすべての音声ではなく、80 デシベルの一定レベル以上の騒音に限定し、都市型データプラットフォームである FIWARE に送信することを予定しています。

また、高度化カメラⅡ型については、50 台の設置を予定しており、Ⅰ型の機能を有しつつ、日中は人流測定と車両接近通知の AI を、夜間は異常音検知 AI を稼働させます。人流を把握することで街のにぎわい創出につなげ、人や自動車の交通量を把握することで交通事故防止を図るほか、夜間は異常音の検知によって、犯罪の抑止につなげたいと考えています。

次に、資料5ページをご覧ください。

データ連携の全体構成イメージ、セキュリティ対策についてお示ししています。特に、セキュリティ対策につきましては、見守りカメラから操作端末間のネットワークを閉域網で構築し、外部との通信は、地域 BWA コアシステムを介した指定先に限定します。

続きまして、2ページをご覧ください。

見守りカメラにおける個人情報の取り扱いについて、概要をご説明します。

本市では、犯罪の抑止、事件等の早期解決その他市民生活の安全確保を目的として、既に設置している 1,475 台の見守りカメラに加えて、先ほどご覧いただきました AI を搭載した高度化カメラを 150 台設置する予定です。

今回の高度化カメラでは、従来の見守りカメラの機能に加えて、異常音等を検知し、回転灯やスピーカーを活用した注意喚起を行うことで、犯罪や交通事故の未然防止を図るとともに、収集した人流データを分析し、効果的なまちの賑わいづくりに活用したいと考えています。

また、加古川市見守りカメラの設置及び運用に関する条例については、高度化カメラの運用開始に伴い規定を整備するとともに、個人情報の取扱いが令和5年4月1日より加古川市個人情報保護条例から改正個人情報保護法の統一的な運用となることに伴う整備を行います。

高度化カメラの設置場所についてですが、情報通信技術利活用検討業務の受託事業者による設置場所の検討・選定結果や、第2期 ICT（情報通信技術）を活用した安全・安心のまちづくり推進事業ワーキンググループでの協議結果等をふまえて、市が決定します。例えば、危険運転検知を目的とするものであれば学校の通学路周辺を、人流データ分析を目的とするものであれば駅周辺等を予定しています。

続いて、資料3ページをご覧ください。スケジュールとして、まず、設置概要の周知を9月末～10月初旬ごろ、高度化カメラ設置の概要について、地区町内会連合会長にお知らせするかたちで予定しております。また、市民の皆様からのご意見の聞き取りとして、10月中に、高度化カメラの設置及び管理運用について、本市の市民参加型合意形成プラットフォームである、Decidim（デシディム）により聞き取りを行いたいと考えています。

設置につきましては、令和5年1月～3月に、設置場所が決定次第、該当の区域内に居住する住民に対し、設置場所を示したうえで詳細を説明することを予定しています。

また、収集するデータについて、まず（1）異常音についてですが、人の声は改正個人情報保護法における個人識別符号であるため、高度化カメラが新たに収集する音声データは個人情報に該当します。当該音声データは、画像データのように24時間保管されるものではなく、80デシベル以上の音声であり、かつ『AIが学習し、生成した悲鳴や怒声等の特徴』に合致したものに限られます。

これらの特徴に合致する異常音については、一定期間保存されます。これは、『AIが学習し、生成した悲鳴や怒声等の特徴』については、一定の学習期間を要するためです。また、当該学習の過程において、データの検知精度の向上のため、検知する音の閾値の変更、バイク及び自転車の交通量測定の追加などについて、より適切な内容に変更する可能性があります。

次に（2）人流データについては、高度化カメラにより撮影された個人情報に該当する画像データ個人情報に該当を加工して作成され、歩行者及び自動車の交通量であり、数値化・記号化された情報を活用します。これは個人情報には該当しません。

続いて、「条例の整備」についてですが、本日配布しました「加古川市見守りカメラの設置及び運用に関する条例」の条文を併せてご覧ください。

まず、（1）高度化カメラの運用については、現行条例の第3条においては、「市は、犯罪の抑止、事件等の早期解決その他市民生活の安全の確保を目的として、見守りカメラを設置し、撮影する」と規定されており、異常音の収集に関する規定がないため、個人情報に該当するものを含む異常音を収集することができる旨の規定を加えます。

また、同条においては、見守りカメラの設置目的を市民生活の安全確保に限定しているため、当該カメラが収集する画像及び音声に係るデータについて、個人情報を含まない状態に加工したものを、市が実施するその他の施策のために利用することができることを規定します。

次に、（2）改正個人情報保護法への対応についてですが、個人情報の目的以外の利用、外部提供及び開示請求に関する事項については、改正個人情報保護法施行後は条例に規定することは認められていないことから、現行条例の第6条は条文ごと削除し、第7条及び第8条については、個人情報に関する部分を削除します。

具体的には、第7条については、加古川市情報公開条例による開示請求の例外として、個人情報を含まない画像データや音声データについても、その外部への提供

は原則禁止するよう改正し、第8条についても同様に、個人情報を含まない画像データや音声データであっても開示しない取扱いを維持するよう改正します。

これらについては、見守りカメラの画像データについては、個人情報を含まないものであっても、撮影範囲が明らかになることを防ぐ必要があり、また、異常音については、個人情報を含まないデータのみを抽出することが容易にできないため必要と考えています。

議題1についての説明は以上となります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

委員長 ありがとうございました。委員の皆様より質問等はございますか。

委員 I型のカメらは異常音を検知するとのことですが、音だけを収集するのですか。それとも映像も収集するのですか。

生活安全課 I型、II型ともにカメラの機能を持ったうえで、異常音を収集します。

委員 80 デシベル以上の音声で、「AI が学習し、生成した悲鳴や怒声等の特徴」を一定期間保存されるとのことですが、具体的にはどのくらいの期間を予定していますか。また、保管される場所はどこですか。

生活安全課 保管する期間については、AI 学習するための期間として、現段階では最大半年程度と想定しています。1台が学習した異常音はすべてのカメラで共有されます。保管期間については短いほうが好ましいので、学習が進めばさらに短くできると考えています。必要な情報がどのくらいなのかをある程度判断してから期間を定めたいと考えています。また、データの保管場所について、いわゆる音そのものは中間サーバーに格納されます。各カメラに分配される学習データは音そのものではありません。

委員 高度化カメラで保存される画像は24時間保存されるのですか、それとも異常音があった部分だけですか。

生活安全課 画像については24時間保存されますが、異常音については80 デシベル以上の音があった前後5秒のみが保存されます。

委員 AI の学習は、加古川市の中だけで行うのでしょうか。それとも、他の自治体で同様の機器が設置されていれば連携して性能アップを図ることもあるのでしょうか。

生活安全課 AI の学習内容は、ある程度完成された状態で納入され、悲鳴などは判断できる状態です。それに加古川市で学校のチャイム音など地域の環境音を除外する流れとなるものです。

委員 悲鳴や怒声といった異常音を犯罪や交通事故防止などにつなげるとのことですが、データの外部提供はしないとなるとどのようにつなげていくのですか。

生活安全課 悲鳴や怒声を認識すれば、備えつけの回転灯やスピーカーで近くにいる人に注意喚起を行い、これから起ころうとしている犯罪や交通事故の未然防止を図ります。公表の原則禁止については、映像についてはこれまでも防犯上の問題で不開示としています。音声データについては、中間サーバーに保管されると説明しましたが、こちらには個人情報である人の声も入っていますので収集した音そのものは提供しないという意味です。

委員長 その他特にございませんか。
特にないようですので、所管課の皆さんには退出願います。

(生活安全課職員退室)

委員長 答申するうえで、ご意見をいただきたいのですが、何かご意見等ございますか。

(意見なし)

委員長 それでは、諮問第 50 号見守りカメラにおける個人情報の取扱いについては、認めるということよろしいでしょうか。

(各委員同意)

委員長 それでは、そのように答申することといたします。
本日の審議結果をもとに、事務局において答申案の作成をお願いします。

【3 その他】

委員長 それでは、次に、「その他」についてですが、何かございますか。

(各委員特になし)

事務局 加古川市情報公開・個人情報保護審査会要領第 11 条の規定により、委員の承認を得て会議録を確定することとなっております。事前に送付いたしました前回の第 77 回審査会会議録案を一部修正したものについて、会議録としてご承認いただけますか。

(各委員承認)

事務局 会議録をご承認いただきましたので、会議録の確定及び公開事務を進めさせていただきます。続いて、答申第48号案について、委員の皆さまからご指摘いただいた部分を修正したうえで、答申としてご承認いただけますか。

(各委員承認)

事務局 それでは、答申を確定し事務を進めさせていただきます。次回審査会については、12月または1月に開催を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

委員長 それでは、本日の審査会はこれにて閉会といたします。お疲れさまでした。

10時24分 閉会

※会議録については、要点筆記としています。